

- ◇…アルミニウムの精練にともなつて排出される「フッ化水素ガス」。人体への悪影響
- ◇…はもとより、植物に対する毒作用は成長障害などの被害も起します。市内では日本軽
- ◇…金属蒲原工場から排出されるフッ化水素ガスの影響が岩松地区に見られました。この
ため、県が昭和45年から、岩松農協や富士老人ホームなど4カ所でアルカリろ紙法に…◇
による濃度測定をはじめました。また市でも独自に昨年9月から岩松農協本所で自動記…◇
録計による測定もはじめました。1年間の測定結果はつきの通りです。…◇

最高濃度は0.6PPb フッ化水素ガスの測定

大気中のフッ化水素ガスは、眼、歯ぐきなどに対し強い浸透性をもち、炎症性の痛みをおこします。しかし、大気中のフッ化水素が人体よりも大きな影響をあたえるのは、植物に対する毒作用です。たとえば、アヤメやカラマツなどは1.5 PPbで72時間の作用で萎縮、成長障害などの被害をおよぼす実験例があります

年平均は0.1PPb 比較的低い濃度

岩松地区におけるフッ化水素ガス濃度の測定は、昨年9月から岩松農協の本所に、連続自動記録計を設置し、実態調査をはじめました。測定方法は、比較対象ができるように、富士川町や蒲原町、発生源の日本軽金属蒲原工場を行なつてある方法で実施しました。

岩松地区的風向は、岩本山や岩渕山の影響を受け、特に海風は比較的近い内陸部のみと考えられ、強い南風は岩渕山の影響を受けながら西北西または北西に変化します。市内の

気象観測資料や実験結果でも一番多い風向は南西の風とされており、岩松農協の測定結果でも西からの風が多く観測されています。したがつて、岩松地区の自然環境は比較的市内の工場群からの大気汚染の影響は受けにくいと判断されます。

1年間の測定結果を見ると、今年の8月に時間別最高値で0.6PPbが測定され、単位時間では高濃度が出現しました。年平均では0.1PPbと比較的低い値を示していることは、全般的に減少の傾向にあることはうかがえます。



しかし、富士市における公害行政組織の発足時、昭和41年から45年ころまでにおける農作物や植物の被害からして、他の地域に見られない影響があつたものと思われます。

なお、フッ化水素ガスの拡散は、比較的気象に左右されず、距離で減衰するといわれています。松岡、森島、宮下などの地域は、発生源と3kmラインと推定されるので、他の測点の参考から年平均0.3PPbの濃度があると考えられます。

*PPmは100万分の1。PPbは10億分の1。

自動測定機によるフッ化水素測定結果（単位 PPb）

測定点	月	46年9月	10月	11月	12月	47年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
岩松農協 (本所)	最大	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	—
	最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	平均	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1

他市町村の自動測定機によるフッ化水素測定結果

測定点	月	46年9月	10月	11月	12月	47年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
富士川町方面	富士川町小池	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2
	富士川第1小学校	0.2	0.3	0.1	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3
	富士川第2小学校	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	/
	蒲原中学校	0.9	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	—	—	—	—	—	/
	蒲原上原町	0.3	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2	—	—	—	—	—	/
由比町方面	蒲原町役場	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	—	—	—	—	—	/
	ノ善福寺	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	—	—	—	—	—	/
	由比町農協	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	—	—	—	—	—	/